

～4月から6月までの行事～

SSH2 期目に令和元年から文部科学省より
5年間指定されました!!!

SSHは「先進的な理数系教育による創造性豊かな人材形成」を目標に掲げ、先進的な理数教育、高大接続の研究、国際性を育む取組を支援する文部科学省の事業です。



古川黎明高等学校では、平成24年度から28年度までの5年間【第1期】の指定を受け、「連携」をキーワードとして「身近な生活から宇宙にまで広がる科学への興味・関心を高め、科学的な技能や領域横断的な広い科学的思考力を育成するとともに、世界へ科学を発信できるグローバルな科学コミュニケーション力を育成する」をテーマに様々な取組を行ってきました。さらに、令和元年度から5年度までの5年間【第2期】の指定を受けたことにより、第2期では第1期事業での開発内容を発展させ、「大崎耕土」等の地域資源を活かしながら、「発見・思考・交流」による探究的な学びを段階的・継続的に実施し、探究力（主体的に探究を続け、新たな価値を創造する力）を育成していきます。学校設定科目「SS探究」を開設し、思考力トレーニング、基礎実験トレーニングを行いながら段階的に主体的・協働的に取り組む課題研究を推進していきます。また、大学や研究施設での研修、海外研修、各種学会等での研究発表、科学オリンピックへの参加も積極的に推進していきます。



1学年SSH・SS探究説明会
【4/23】



4月23日、第1学年を対象にSSHの概要と「SS探究I」の各講座についての説明会が開催されました。

本校の久光教諭より前半は「SS探究I」では、「大崎耕土」という学習テーマのもと、一人一人が課題を設定し、研究を進めていくということ、SS探究Iで探究力を備えたイノベーションリーダーの育成を目指し、生徒自らが発見・思考・交流する力を身につけさせて基礎的な探究力の養成の概要説明を行いました。

後半は「大崎耕土」が選ばれた「世界農業遺産」の概要説明と世界遺産とは違う内容であるという説明を行いました。今後、大崎耕土を題材とした探究活動、さらにはサイエンスコンテストを実施するなど科学的な思考力を試す機会を増やし各種大会へ参加していきます。

1年生の諸君は、課題研究という未知の領域に進む期待と不安を胸に説明を聞いていました。この説明会を生かして、これからの研究の中身を実りあるものにしてほしいと思います。



大崎耕土研究プロローグ講演会【5/14】



5月14日(火)に、大崎市産業経済部世界農業遺産推進課にある自然共生推進担当の三宅源行氏を本校アリーナにお迎えし、大崎耕土研究プロローグ講演会が開催されました。今年度は中学3年生も大崎耕土研究に取り組むため、高校1年生241名と中学3年生105名がアリーナに集まりました。演題は「世界農業遺産と農業生物多様性」でした。内容は、世界農業遺産の視点から見た大崎耕土の姿に触れながら、大崎耕土の生物多様性の実態について詳しく講演していただきました。また、大崎耕土を題材とした研究や論文はまだ数が少なくぜひ黎明生の10代の感性からの視点で研究し大崎耕土と一緒に盛り上げていきましようという心強い激励をいただきました。



講演終了後の質疑応答では、生徒からの質問に対して先生はわかりやすく生物の生態について、丁寧にお答えいただきました。講演後に生徒が書いた感想には「今の大崎耕土の田んぼや水路の管理方法、残していくためにどんな取り組みをしているかを調べ、将来のために何ができるのか考えていきたい。」と興味・関心の高まりが見られました。

今後のSSH行事

| | |
|---------|---------------------------------|
| 7/16~29 | 日英サイエンスワークショップ(英国海外研修) 高校生5名参加 |
| 8/2~3 | 第4回福島第一廃炉国際フォーラム学生セッション 高校生2名参加 |
| 8/6~8/8 | 全国SSH生徒研究発表会 高校自然科学部3名参加 |

SS探究I 校外学習【6/27】

6月27日(木)に、SS探究Iの校外学習に行ってきました。高校1学年は今年1年間「大崎耕土」の研究をします。そのために、校外学習を通して興味関心を高めるとともに、自ら課題を見つけ出し、科学的な視点に立って解決しようとする態度の育成を目的として実施しています。

241名が、それぞれ興味のある分野を選んで、一日をかけて見学や調査をしたり講義を聴いたりしてきました。

【5分野】農業生物多様性(居久根、ため池調査)、食文化(野の風、あら伊達な道の駅)、水管理(大崎土地改良区)、歴史文化(居久根の聞き書き)、栽培技術(古川農業試験場)



SS総合II One Day College【6/27】

高校2学年では、総合的な学習の時間で「課題研究」を行います。毎年6月には、大学の先生方から研究計画について適切なアドバイスをいただくため、One Day Collegeを実施しています。図書館での文献検索や、施設訪問を行い、自分たちの研究テーマについてより詳細なデータを収集していました。

234名がそれぞれ選択した分野を選んで、大学を訪れ、見学・聴講・研修してきました。今後はこれらをベースに課題研究を進めていきます。

【訪問地】東北大学(歴史・社会・理科分野)、宮城学院女子大学(心理分野)、石巻専修大学(生物分野)、尚絅学院大学(心理分野)、東北学院大学(文系〈文学・歴史・社会・言語〉分野)、東北工業大学(物理・建築・災害分野)、仙台大学(運動分野)

